学校番号	1206

令和８年度　教養科

教科	学 教養	科目	教養探究	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	・自校作成教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

進路実現のために、教科横断的な学習を通じ、興味・関心を引き出し、探究心・知的好奇心を高め、自ら進んで学習する態度を養う。そのため社会の中で起きていることや身近な問題などを題材にし、考える授業をおこなう。
成績は出席や授業態度・授業プリントなどの提出物を重視し評価する。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・教科横断の授業を通して、実際に得た知識や技能を活用する方法を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
・自らの考えや意見などを、口頭、論述などいろいろな方法で表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
・知識及び技能を獲得し、思考力、判断力、表現力を身に付けようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会事象や身近な問題に関する知識を理解している。	社会事象や身近な問題に関する自らの考えや意見を表現している。 教科横断の授業を通して多角的な判断力を養う。	社会事象や身近な問題に関して探究心や知的好奇心を持ち、自ら進んで学習する態度を養う

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月から2月	ショップ形式で下記の内容を短期間で集中して取り組んでいく		a:各科目の基礎的な知識や身近な問題・社会事象を理解している。 b:社会事象や身近な問題に関する自らの考えや意見を表現している。 教科横断の授業を通して多角的な判断を踏まえた考察が出来ている。 c:授業や課題に対し、主体的に取り組もうとしている。	授業プリント 課題物	グループワーク ワークシート等 授業プリント	授業観察
	○就職進学に必要な 各教科の基礎知識 ○仲間と協力しながら 課題に取り組む ○自ら課題を見つけ、自ら考え、学び、主体的に判断できる能力を育む ○社会人の基本を理 解し、身につける	○国語 ○数学 ○英語 ○理科 ○社会 就職試験に必要な一般常識や社会事象・身近な問題を想定した各教科の基礎的な内容について考える ・基本的読み書きや日常や一般常識で活用できる「四字熟語」・「ことわざ」等の学習をする。 ・生物の進化についての学習 「ヒト」につながっていく過程について学習をし、特徴を深堀していく。 ・「労働問題」や「デート DV」などの現代の諸問題について学習し、自ら判断できる知識を習得する。 ・日常につながる計算の例をもとに 数学的思考を養っていく。 ・日常で使う英会話や単語を中心に学習し、スピーキングやライティングも行いながら理解を深める。				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度